

保健医療、福祉、教育分野における障害者の職業準備と就労移行等を促進する地域支援のあり方に関する研究

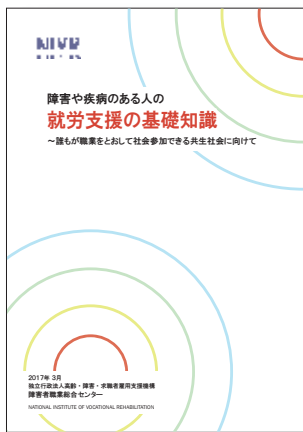
春名 由一郎、鈴木 徹、清野 絵、野元 葵、三輪 のり子、榎並 公平 (障害者職業総合センター)

● 研究の目的

障害や疾病があっても職業をとおして社会参加できる共生社会の理念は、保健医療、福祉、教育分野にも広がり、就労支援はこれら関係分野と共通認識をもって取り組むことが重要となっています。本研究では、このような関係機関・職種を対象とした障害者就労支援の取組と課題等に関する調査・分析を行い、これらの関係機関・職種が、なぜ、どうやって、何に取り組めばよいのかを明らかにすることを目的としました。

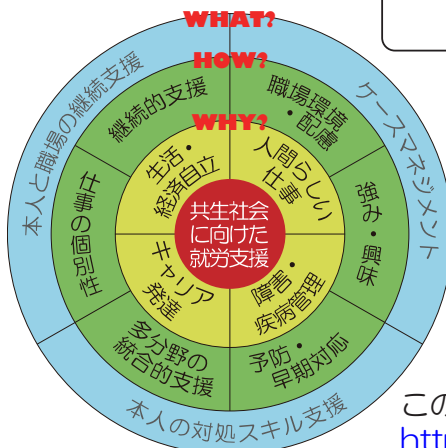
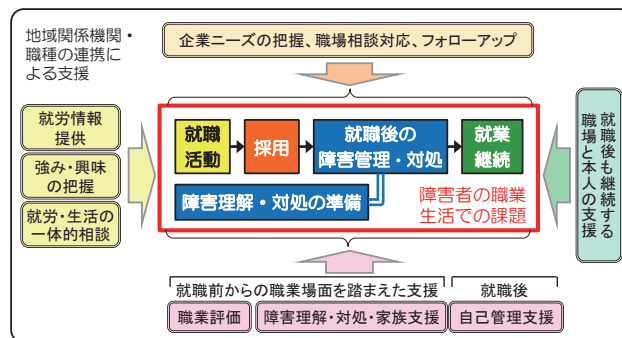
● 活用のポイントと知見

本研究では、障害者の職業準備と就労移行等を促進する支援を効果的に実施するに当たって、最も基本的な内容であるにもかかわらず、保健医療、福祉、教育分野を含む地域機関・職種の関係者の多くに共有されていない分野横断的な「障害者就労支援の共通基盤」があること、またそれは「①障害者就労支援の基本的枠組み」と「②多分野間の障害者就労支援の共通理解のポイント」の2点であることを新たに明らかにしました。今後、関係者が地域で就労支援の役割分担や連携を検討する際、これら関係者が共有できる共通目標、就労支援のポイント、それぞれの専門性を活かした具体的取組のヒントを確認するために活用していただくことが望まれます。



分野・機関・職種によらない効果的な障害者就労支援の基本的枠組み

職業準備・就労移行の支援では、本人と企業・職場側の双方に対し、就職活動・採用と、職業場面での障害理解・対処の準備を総合的に行うため、就労支援機関との連携が必要。



共生社会に向けた就労支援に必要な確認事項

今後、関係者が地域等で就労支援の役割分担や連携のあり方を効果的に検討できるように、これら関係者が共有できる共通目標 (Why?)、就労支援のポイント (How?)、それぞれの専門性を活かした具体的取組のヒント (What?) を、実態調査の分析を踏まえて整理した。

この研究成果物は、
<http://www.nivr.ieed.or.jp/research/kyouzai/kyouzai52.html>
からダウンロードできます。